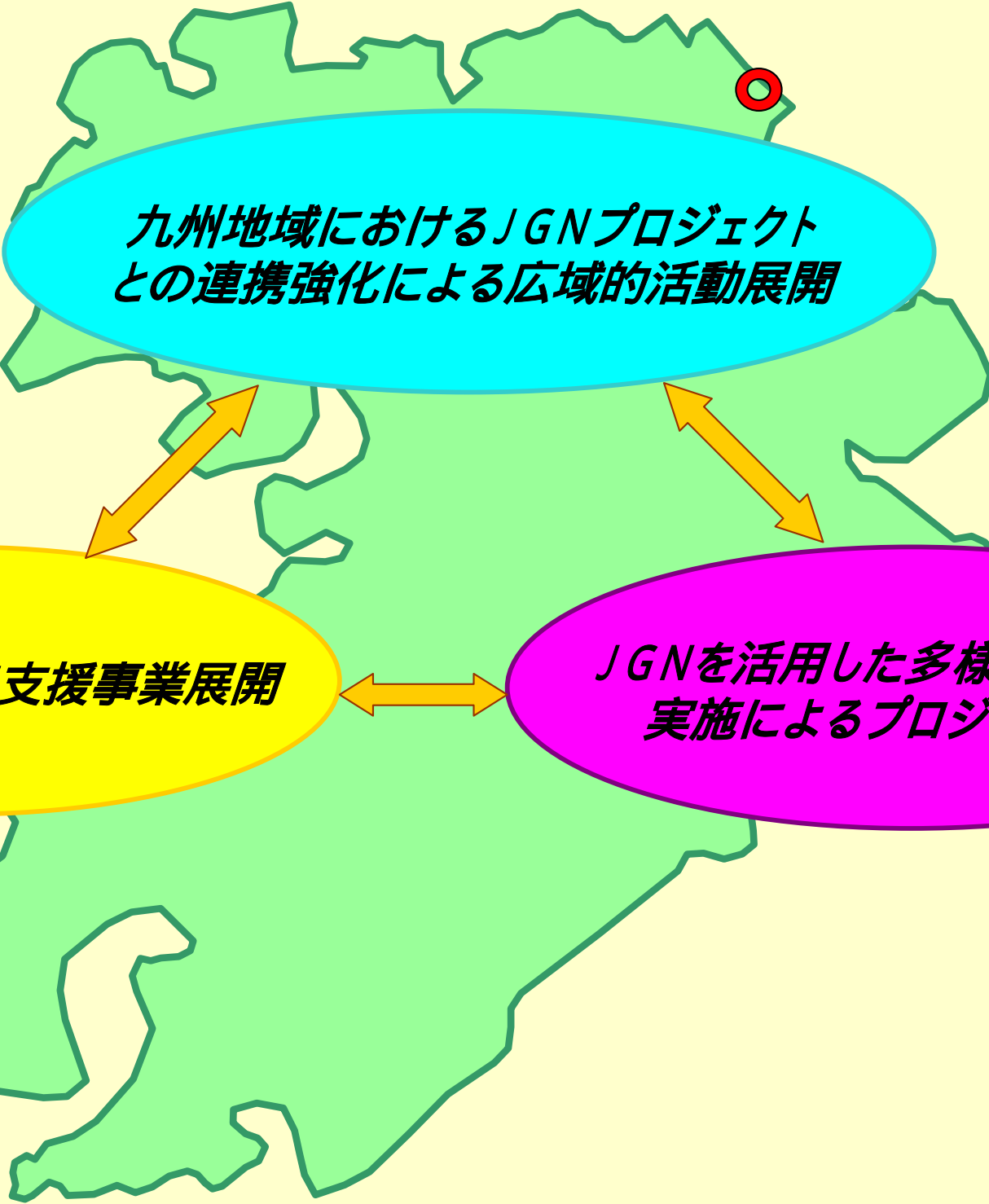


**北九州ギガビット・ラボにおける研究開発
コーディネート事業の概要について**

2003/2/13

TAO K-GBL 広岡

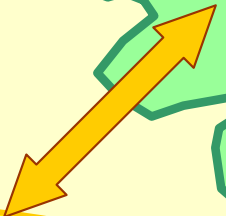
活動コンセプト



九州地域におけるJGNプロジェクトとの連携強化による広域的活動展開

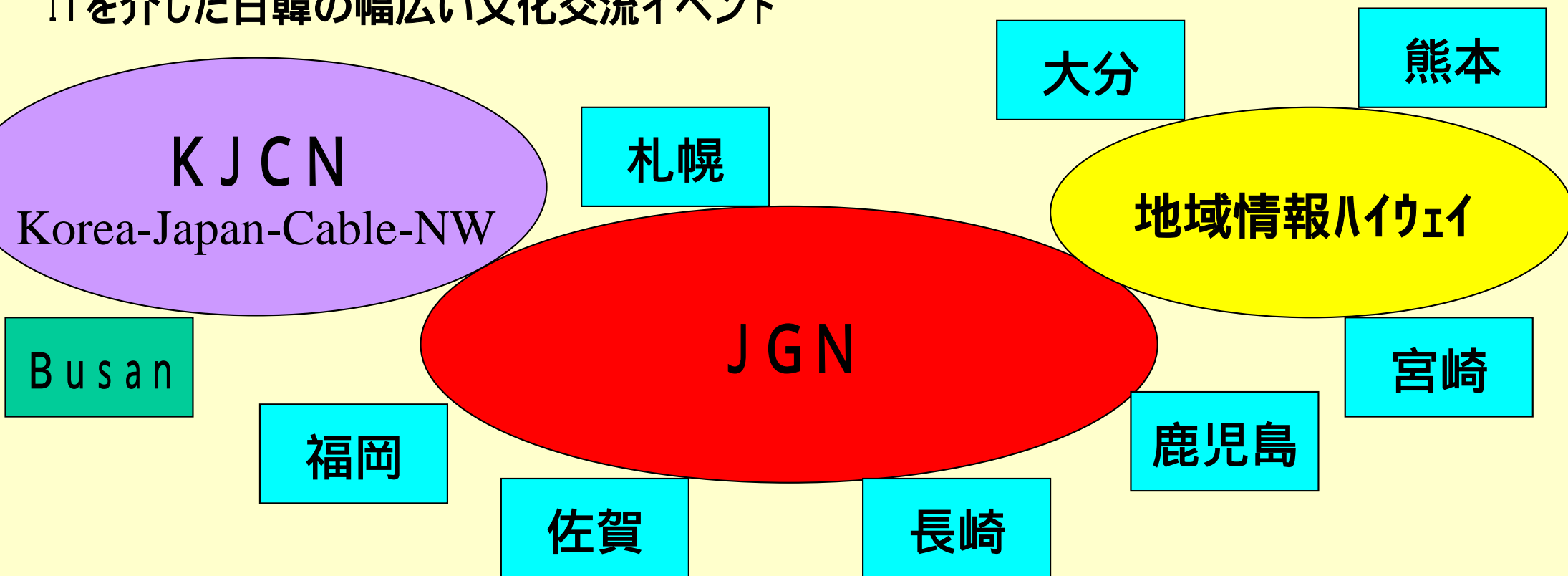
地域に密着したIT支援事業展開

JGNを活用した多様なITイベント実施によるプロジェクト啓発



Asian Internet Wave ~ e絆 ~

ITを介した日韓の幅広い文化交流イベント



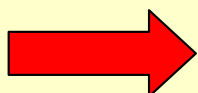
たかがイベント、されどイベント

○様々なコラボレーション技術の現地体験・スキルアップ
(ネットワーク、映像、音響等、トータル技術の検証)



- ・1回のイベント実施で様々な技術検証が実際に可能
- ・ネットワークコラボレーションにおいては、ネットワーク～映像・音響～演出といった広範囲に及ぶテクニカルディレクターが必要

○高速ネットワークを活用した具体的インパクトを幅広く創出

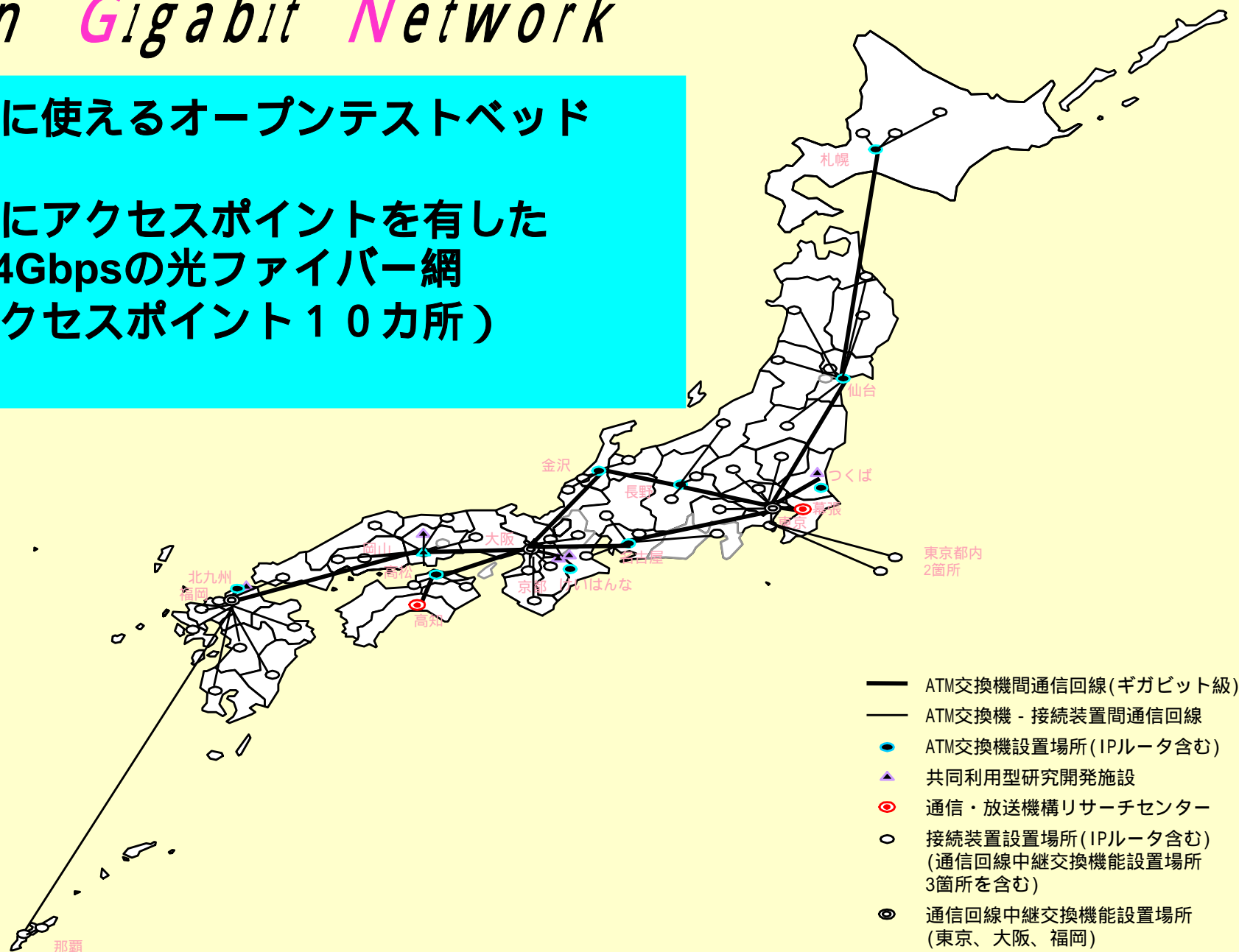


- ・具体的研究テーマ創出のきっかけづくり
- ・地域情報ハイウェイ活用のテーマづくり
- ・ITプロジェクトに対する一般レベルからの関心誘導

研究開発用ギガビット・ネットワーク

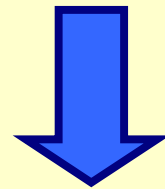
Japan Gigabit Network

- ・誰でも自由に使えるオープンテストベッド
- ・全都道府県にアクセスポイントを有した最大帯域2.4Gbpsの光ファイバー網
(九州内アクセスポイント10カ所)



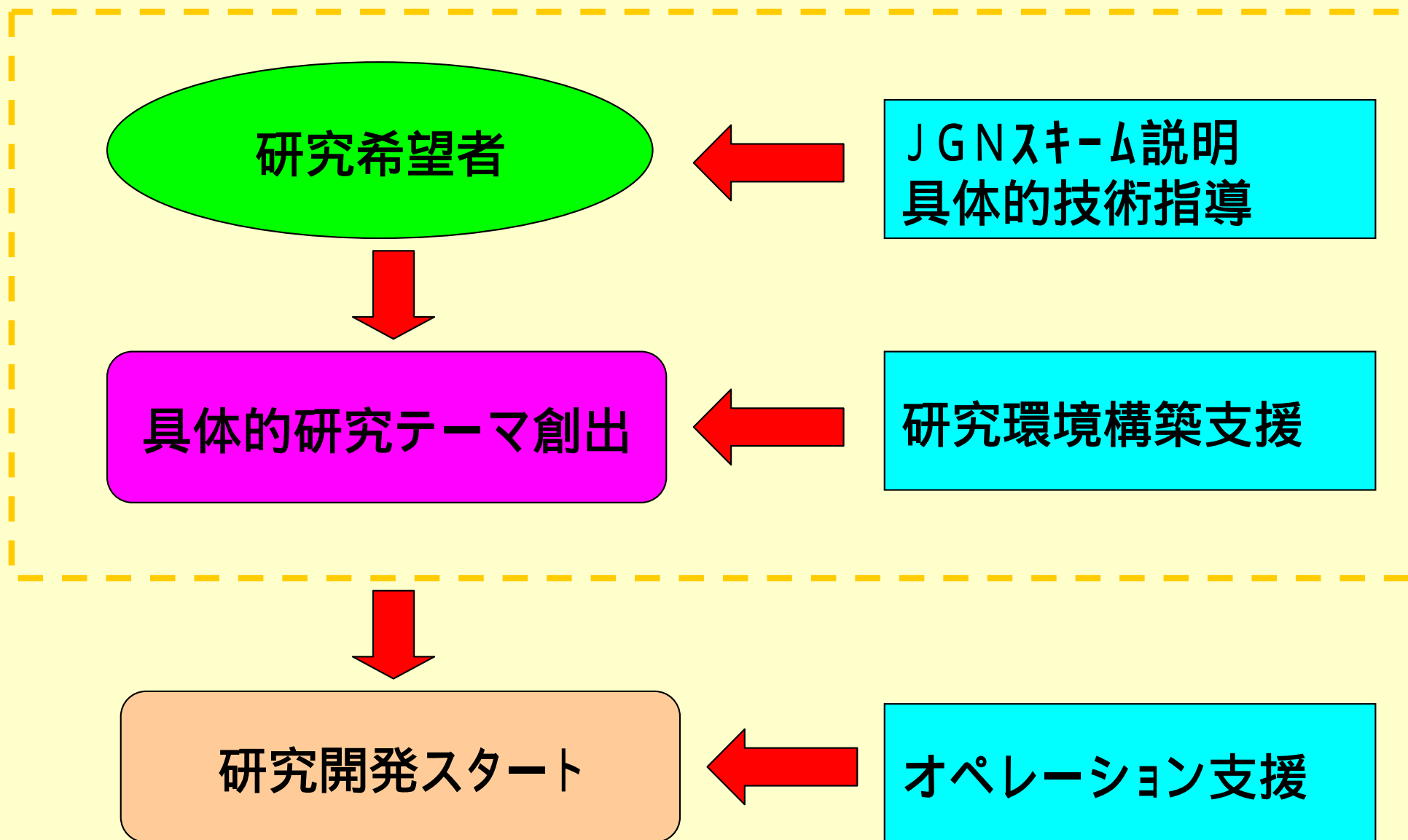
九州地域JGN各APとの広域連携活動の展開

九州各地域におけるJGNプロジェクトのPR活動
各APにおける技術・手続き両面における具体的利用支援
JGN研究拠点としてオープンラボスペースを設置



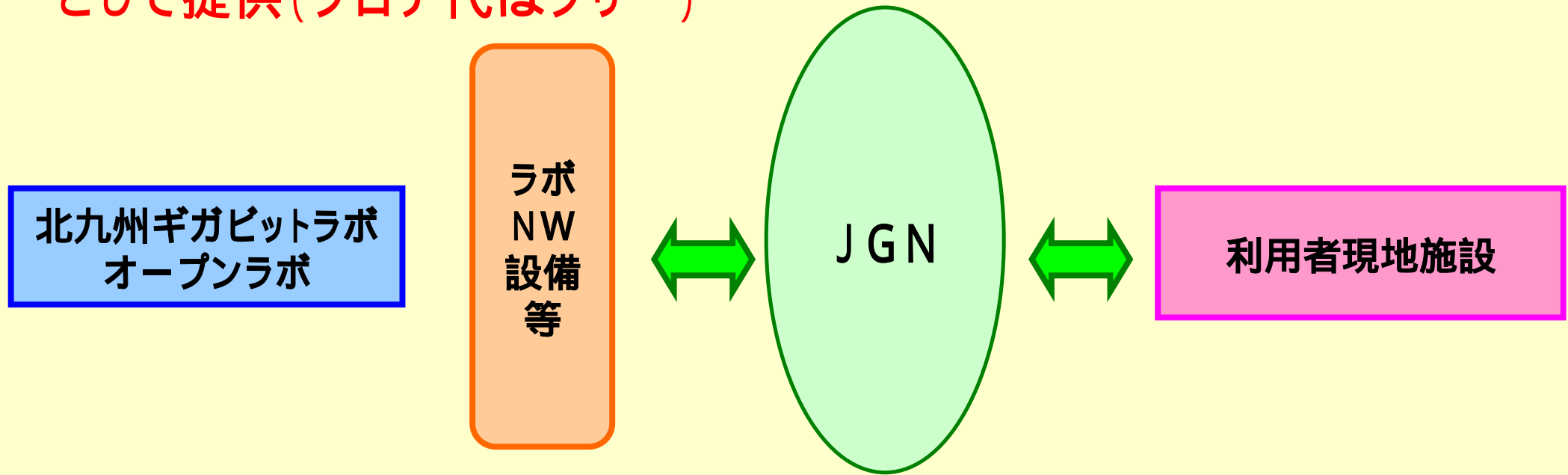
ギガビット・ラボがコーディネート
した九州地区JGN研究テーマが
8テーマ誕生

地域プロジェクト創出支援スキーム



オープンラボスペース

ラボ内のフロアスペースを有効活用し、JGNの研究開発拠点として提供(フロア代はフリー)



長崎大学、(株)マックス(写真左)

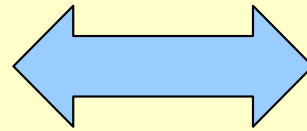


熊本大学、構造計画研究所(写真右)

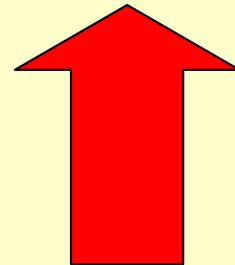


オープンラボスペースのメリット

JGNの足回り
回線確保が不要



ラボの設備利用も
僅かな装置だけで済む



都心部(JR小倉駅
近接)ラボとしての
地理的優位性

ラボスタッフによる
設置機器オペレーション
支援

北九州ギガビット・ラボがコーディネートし、ラボ(オープンラボスペース)を拠点として成立した研究開発プロジェクト

- 遠隔プラント設備診断
[高田工業所:北九州市]
- 力覚情報通信システムの運用実験
[熊本大学:熊本県]
- 帯域圧縮による電子透かしデータの影響などに関する実験
[長崎大学:長崎県]
- 遠隔ロボットアームの制御実験
[九州工業大学:福岡県]
- 地域ライブ映像配信実証実験
[(株)アボック:宮崎県]
- 遠隔協調設計支援システム運用化の予備的実験
[熊本大学:熊本県]
- 医療(PTCA治療)技術向上に向けた遠隔カンファレンス実証
[小倉記念病院:北九州市]
- 立体映像遠隔リアルタイム上映システムの開発
[(株)マックス:長崎県]

研究開発テーマ創出への道

R

Research (潜在的ニーズの発見)

O

Object (目的、対象を明確設定)

A

Administration (管理者体制の構築)

D

Dash (勢いのあるうちにスタート、一気に突進)

ネットワークマネジメントにとっての 生命 (*L i f e*) 線

L

Link

多様な接続形態

I

Integration

統合

F

Flexibility

柔軟運営

E

Entrust

アウトソーシング